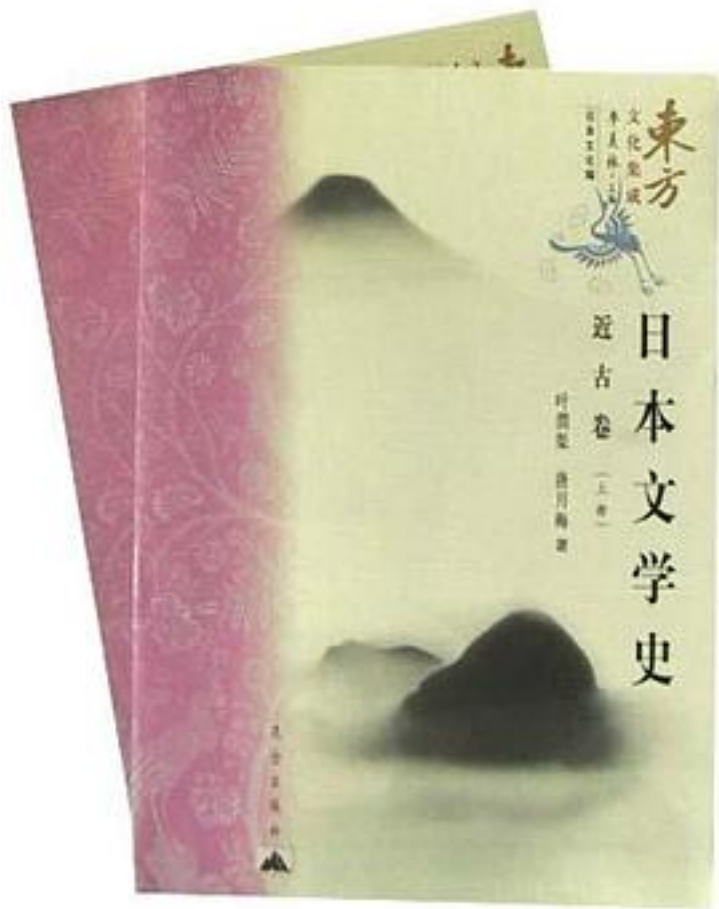


日本文学史



[日本文学史_下载链接1](#)

著者:奥野健男

出版者:中央公論新社

出版时间:1970-3-25

装帧:新書

isbn:9784121002129

明治十八年、坪内逍遙が初めて西欧近代小説の理念を導入し、小説の芸術としての独

立性を・小説神髓・
で主唱して以来、私小説を中心にして文壇という特殊社会でわが国特有の性格を形成してきた近代文学の動向と特質と変遷、その主要文学者と文学作品を鳥瞰する。そしてその間に試みられた方法や作風の多様性のなかに日本文学の内発的可能性を求め、世界同時的性格をもつ現代文学の不毛性を克服する方途を模索する。

作者介绍:

目录:

[日本文学史_下载链接1](#)

标签

日本研究相关

日本文学

日本

文学研究

文学

文学史

奥野健男

目的地

评论

对各个思潮、运动的介绍非常适合给菜鸟如我扫盲。至于一本文学史如何在保持informative的同时不堕入人名与书名的堆砌真的是永恒的难题吧。

読みたいリスト：嘉村礒多（かむらいそた）『神前結婚』、石川淳『焼跡のイエス』、安部公房『砂の女』、河野多恵子『塀の中』、円地文子『女坂』、倉橋由美子『聖少女』、丸谷才一『廻廊にて』、野坂昭如『骨餓身峠死人葛』

看到奥野在后记里写这是一本让人一个晚上可以大致了解文学史脉络的读本，开始回忆自己拖拖拉拉读了多少天。想看野间宏和仓桥由美子

除作品罗列以外的部分还是很精彩的。

文图总有好东西之n。虽然是罗列但偶尔闪现的评论可窥激情澎湃（e.g. 《浮云》那段）。种草无数！

[日本文学史 下载链接1](#)

书评

[日本文学史 下载链接1](#)